



【編集】
富山国際大学
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies



授業を役立てて 1 万人の頂点に

ビジネス能力検定で文部科学大臣賞を受賞した高桑譲さん 2 年生（観光専攻）

ビジネス能力検定（B 検）ジョブパス 3 級で文部科学大臣賞に輝いた。受験したのは 1 年生だった 27 年 7 月。合格したことは大分前に聞いていたが、授賞の報が届いたのは、2 年生として初登校した今年 4 月、オリエンテーション出席の直前だった。何が何だかわからないまま、2 年生全員が見守る前で尾畑納子学部長から賞状を渡された。

ジョブパスは、ビジネスマナーやスキルの知識を問い、社会人としての仕事能力を評価する検定だ。主催する職業教育・キャリア教育財団 検定試験センターによると、高桑さんが受験した 27 年度前期は、1 万人以上が受験し、文部科学大臣賞を受けたのはたった 1 人だったという。

頂点に立った秘策を聞くと、「授業を真面目に聞いただけ」という答えが返ってきた。1 年生時だけでも、ビジネス情報演習、ビジネス実務演習、キャリア・デザイン講座と、社会に出るために備える授業があり、「検定に合格するだけでなく、使える人材になるための授業だったから、共鳴して」熱心に受講したという。

高桑さんはこれだけでなく、とやま国際センター主催のロシア語スピーチコンテスト・スピーチ部門で、2 年連続で 3 位に輝いている。大学に入って初めて学んだロシア語だが、「やってみたら合っていた」と力を入れて取り組んできた。ただ、指導するロシア語ネイティブのボグダン・パブリー先生は、今年は、昨年を上回る 1 位か 2 位になることを期待していたようで「ほめてくれるどころか不満そうだった」と、本人にとってもほろ苦い 3 位だったことを明かした。



「哲学を含む幅広い科目を教える」現代社会学部に進んで、少人数の学校ならではの良さを知ったという。教職員は多くの学生の名前を知っている。プレゼンテーションをする授業なら、発表の機会が必ず全員に回る。ロシア語能力が短期間に伸びたのはわずか 6 人のクラスで、学んでいるからだとも考える。

課外活動としては、吹奏楽部でチューバを吹く。オープンキャンパスで演奏したり、老人ホームを慰問したりしている。老人ホームでの演奏では年齢層を考えて演歌を演奏したところ、熱唱する人がいて「音楽が生きる活力になる」ことを知った。

何事にも好奇心旺盛なことがこの人のバネなのだろうか。

「高い実力、スキルを持って色々な人の役に立ちたい」と今後について語る。ジョブパスは今年、2 級に合格した。「毎年、わずか数十人しか合格しない 1 級も受けたら」と水を向けると、「う～ん、目指そうかなあ」。

▽この欄では、各方面で活躍する現代社会学部の学生を順次、取り上げていきます。